

建設工事等の入札における一抜け方式の取扱い

川 口 市

本市では、市内企業の幅広い受注機会の確保を図るため、一抜け方式による入札を採用することとしましたので、お知らせいたします。

1 一抜け方式とは

一抜け方式とは、対象とする複数の工事等の案件において、あらかじめ落札決定順位（開札の順番）を定めておき、落札決定順位の上位の案件で落札者となった業者の他の案件の入札書を無効とすることにより、下位の案件の落札者を決定する入札方式です。

2 一抜け方式による落札者の決定

一抜け方式では、あらかじめ落札決定対象とする工事等の案件に落札決定順位（開札の順番）を決めておき、上位の案件から順に落札決定をします。上位の案件で落札者となった業者の入札書は、下位の案件では無効となり、落札者となることができません。

一抜け方式を適用する案件、落札決定順位は入札公告に明示します。

3 適用する対象

本市が発注する建設工事、建設工事に係る設計、調査及び測量委託のうち、次の要件のすべてを満たすもののうち、特に市長が認めたものとします。

- (1) 川口市内に本社、本店を置く業者以外の業者を当該競争入札の参加資格に含む一般競争入札。
- (2) 同一日に公告し、かつ同一日に開札をする場合。
- (3) 工事種別及び発注標準における等級が同一である場合。

4 一抜け方式の注意点

- (1) 一抜け方式を適用する場合の開札の順番は、設計金額の高い順となります。
- (2) 一抜け方式を適用した結果、落札決定順位下位の案件において、当該入札の参加者が1者となる場合は、当該入札の競争性確保のため、一抜け方式を適用しません。
- (3) 一抜け方式を適用した案件に建設工事共同企業体（以下「共同企業体」という。）が落札者となった場合は、以後の落札決定順位下位の工事等においては、当該共同企業体及び共同企業体構成員のすべての者の入札書を無効とします。
- (4) 一抜け方式を適用する案件では、すべて最低制限価格制度を採用します。ただし、(2)の理由により、一抜け方式を適用しなくなった案件では最低制限価格制度を採用せず、低入札価格制度（調査基準価格制度）を適用します。
- (5) 一抜け方式を適用する入札であっても、当初から1者のみの入札であった場合は、一抜け方式を適用する必要がないことから、通常の競争入札として、当該入札は従前どおり有効となります。

一抜け方式について(シミュレーション)

【3案件をひとつのグループとして、執行する一般競争入札に一抜け方式を適用させた場合】

落札決定順位 (開札の順番)	1 位	2 位	3 位
案件名	〇〇〇〇〇工事	□□□□□工事	△△△△△工事
公告日	平成27年6月5日	平成27年6月5日	平成27年6月5日
工事種別	土木工事	土木工事	土木工事
発注等級	A 級	A 級	A 級
設計額	230,000,000円(税抜)	220,000,000円(税抜)	210,000,000円(税抜)
工期	H27.7.1~H27.12.28	H27.7.1~H28.1.28	H27.7.1~H27.12.28
対象者	市内業者、市外業者(準市内)	市内業者、市外業者(準市内)	市内業者、市外業者(準市内)

※ 設計金額の高い順に落札決定順位(開札の順番)を設定します。

入札を執行したところ、3者より下記のとおり応札があったものとします。

また、一抜け方式を採用しますので、最低制限価格制度を適用します。

なお、すべての応札が最低制限価格以上であったものとします。

(単位:円)

落札決定 順位	案件名	A 者	B 者	C 者
1 位	〇〇〇〇〇工事	220,000,000	225,000,000	230,000,000
2 位	□□□□□工事	一抜け方式により無効	215,000,000	220,000,000
3 位	△△△△△工事	205,000,000	207,000,000	206,000,000

◎ 落札者の決定

設定された落札決定順位に従って、落札者を決定します。

○ 落札決定順位1位の〇〇〇〇〇工事案件

応札された中で最も安価な札を入れたA者(220,000,000円)が落札者となります。

○ 落札決定順位2位の□□□□□工事案件

一抜け方式により、落札決定順位1位で落札者となったA者は、入札書が無効となります。

B者とC者で競争をした結果、安価な札を入れたB者(215,000,000円)が落札者となります。

○ 落札決定順位3位の△△△△△工事案件

落札決定順位上位の2案件で落札者が決定したことから、A者とB者の札が無効となります。

その結果、落札可能な業者が1者のみとなり、競争が行なわれない状態になってしまいました。

この場合、一抜け方式を取止め、この案件のみ通常の競争入札により落札者を決定します。

よって、3者の中で最も安価な札を入れたA者(205,000,000円)が落札者となります。

※ 通常の競争入札になった場合は、最低制限価格ではなく、調査基準価格を適用します。